



北九州市立永犬丸中学校 学校通信  
令和3年 10月7日 No. 9  
発行責任者 校長 本田壽志  
学校所在地 八幡西区永犬丸4-5-1  
TEL093-601-0904 FAX093-601-0911

## ねがいごとえんぴつ



今日は、ドラえもんのお話をします。ドラえもんがついに未来に帰ることになりました。のび太君は、悲しくて悲しくて、泣きながら何度も「行かないで」とお願いしましたが、ドラえもんの心は変わりません。

出発の日、ドラえもんはのび太君に「ねがいごとえんぴつ」をあげました。「のび太君、もし、つらいことがあってどうしても我慢できないときは、このえんぴつで白い紙に願い事を書いてみてね。きっと願いがかなうよ。でも、それは一回きりだから、よく考えて使ってね」と言って未来へ帰っていきました。のび太君は一人ぼっちになってしまいました。でも、ひとつ考えを持っていました。さみしくて我慢できなくなったら、この「ねがいごとえんぴつ」で「ドラえもんが帰ってきますように」と書こうと。

そんなある日、ジャイアンがダンプカーにひかれて、病院に運ばれました。のび太君がスネ夫やしずかちゃんと駆けつけると、ジャイアンは意識不明の重体でした。ジャイアンのお母さんは涙を流しながら「たけしはもうだめかもしれない。」それ以上は声になりませんでした。ジャイアンが死んでしまうかもしれない。のび太君はショックを受けました。でも、心の片隅で「ジャイアンにはずっといじめられてきた。ジャイアンがいなくなれば、もういじめられなくてすむんだ」と思いました。

家に帰ってからも、のび太君はずうっと考えていました。「ジャイアンにはずうっといじめられてきたんだ。誰が助けてやるもんか。それに、何よりもこの「ねがいごとえんぴつ」では「ドラえもんが帰ってきますように」と書くんだ。「ほかのことで使ってはいけないんだ」

のび太君は、今までのドラえもんとの思い出、ジャイアンとの思い出を何度も頭の中に描きました。そしてのび太君は決心しました。大粒の涙を流しながら、それでも力強くノートにこう書きました。「ぼくの大切な友だちのジャイアンの命が助かりますように」

## 祝 県大会出場 野球部



10月2日(土)、3日(日)に本城球場で「第13回全日本春季軟式野球北九州大会」が行われました。今年の野球部は、投打のバランスが良く、1回戦から快進撃を続け、準々決勝の八児中戦は4対1で快勝し、目標にしていた県大会出場を決めました。準決勝の二島中戦は4対5で惜敗、第3位という成績を収めました。県大会での活躍を期待しています。